

サポート詐欺防げ 高校生ら啓発動画

最優秀賞に選ばれた動画の内容を説明する熊本高専八代キャンパスの生徒ら。9日、熊本市中央区



熊本県内8校の高校生らでつくるサイバー防犯ボランティア「サイバーインフォニティズR01」の啓発動画発表会が9日、県警本部であった。各校がパソコンのID、パスワード管理の注意点やウイルス感染対策と称して金品をだまし取る「サポート詐欺」などをテーマに30秒動画を制作。最優秀賞に熊本高専八代キャンパスの作品を選んだ。

熊本高専八代は、サポート詐欺被害をリアルに再現。ファイルのダウンロード指示に応じると画面上に虚偽の警告が表示され、偽のサポートセンターへの電話を促す手口を紹介した。対策として「ブラウザを終了して電話はしないように」と呼びかけた。1年の吉田日向さん(16)は「若者向けに面白い作品ができたと思う」と話した。

ボランティアは県警の呼びかけで2019年9月に発足し発表会は4回目。今回は参加者の投票で優秀作品を決めた。優秀賞は熊本高専熊本キャンパスと熊本商高。菊池高と学園大付高、熊本工高、松橋高、九州技術教育専門学校熊本校も参加した。動画は、県警の公式YouTubeなどで公開される。

(草野太一)